

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 4 月 25 日

所属	商経学部	職名	専任講師	氏名	後藤 啓
研究課題	労働者の能力分布の違いが国際分業とオフショアのパターンに与える影響の分析				
研究キーワード	オフショア、賃金格差、貿易	当年度計画に対する達成度	4.当初の計画どおり研究が進まなかった		
関連するSDGs項目	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	

1. 研究成果の概要

Goto, Ma, and Takeuchi (2017) では、Grossman and Maggi (2000) を拡張し、国間で労働者の平均的な能力レベルが異なることを許容して分析している。それにより、平均的な能力レベルの高い国は、タスク間の補完性が強い産業の生産に特化することになること、および、国間で賃金は均等化せず、オフショアの誘因が生じることを示している。ただし、結果を得るために分布に強い仮定を課している。また、能力分布が財価格や賃金、および厚生に与える影響の分析も十分ではないという課題がある。

そこで、Goto, Ma, and Takeuchi (2021)では、労働者の能力分布の仮定を緩めて、より一般的な分布を許容して分析を行っている。それでも、Goto, Ma, and Takeuchi (2017)の結果の多くを再現でき、また、能力分布が財価格や賃金、および厚生に与える影響についてもより詳細な分析をしている。

専門誌への掲載を目指して、いくつかの雑誌に投稿したが、掲載にいたっていない。現在は、専門誌への掲載を目指して、さらなる改定と投稿先の選定をしているところである。

[1] Goto, Ma, and Takeuchi. 2021. “Skill Diversity and Offshoring” Graduate School of Business Administration KOBE UNIVERSITY Discussion Paper Series, No. 2021-06

[2] Goto, Ma, and Takeuchi. 2017. “How do the average skill and the skill dispersion affect offshoring?” Graduate School of Business Administration KOBE UNIVERSITY Discussion Paper Series No. 2017-07

[3] Grossman and Maggi. 2000. “Diversity and Trade”, American Economic Review, 90, pp.1255–1275

2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）

【論文（査読あり）】

特になし

【著書・論文（査読なし）】

後藤啓、馬岩、竹内信行 (2021) 『Skill Diversity と貿易パターン –Grossman and Maggi (2000)の命題 4 に関する一考察–』 国民経済雑誌 第 223 巻第 5 号、33–45

【学会発表等】

特になし

3. 主な経費

書籍代

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

【科学研究費】

若手研究: 平成 31 年度～平成 32 年度, 研究代表, 課題名『一国および地域の人口動態に関する空間経済研究』(19K13691) (研究期間を延長中)